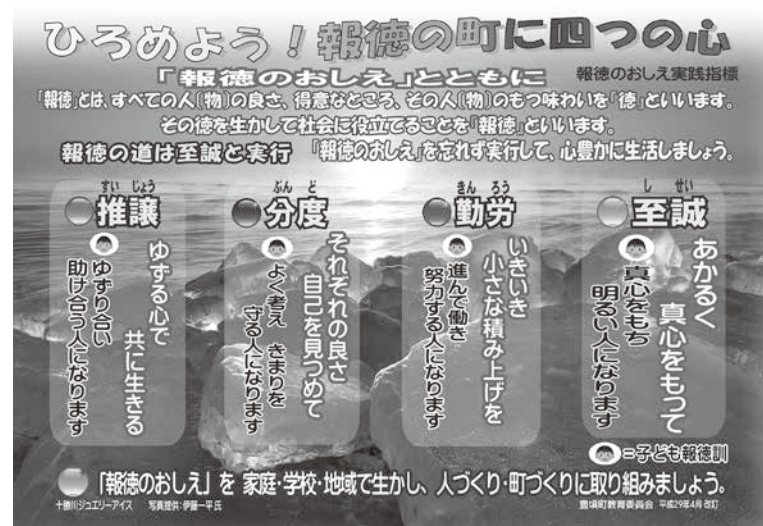




豊頃町民憲章では、「今を充実させ、未来を発展させるために。先人のたくましい開拓精神と、報徳のおしえ（至誠・勤労・分度・推譲）を受け継ぐことを誇りとし、この町民憲章を定めます。」とあります。



くり人づくりの基盤になっています。

また「報徳のおしえ」の実践指標はリーフレット（↑画像）にまとめられています。家庭・学校・地域の誰もが、いつでもどこでも実践しましょう。

「報徳のおしえ」をさらにもうひとホリ！

「報徳のおしえ」とは、人が他から受けた徳に対して徳で応え報いることをおしえています。「報徳のおしえ」を読みやすく分かりやすくまとめたものが『報徳訓』です。尊徳の死後、そのおしえは弟子たちによって「報徳記」にまとめられました。「報徳のおしえ」の根本は「至誠」にあるとし、その上で「勤労」「分度」「推譲」が基本であると述べています。

「報徳のおしえ」四綱領

至誠

人間も動植物も全てのものやことには、美点、長所、よさ、取り柄があり、それらを『徳』として、真心をもって接し、お互いに引き出しあうことが大切です。人間や仕事関係においては、明るく正直に誠実に真心をもって接することが肝心です。

勤労

何事にも一生懸命、勤勉に心を込めて働くことです。単に収入を得るためや出世のため、食べるために働くのではなく、天地人の徳のために感謝しながら働くことが大切です。全てのものにある徳を見つけて感謝し、自己を高めるために働きます。常に工夫をし、前向きに積小為大の気持ちをもって働くことが大切です。

分度

自己の力量とものごとの関係性を良くわきまえて行動することです。自己と自然や社会との関係、歴史との関係、両親や地域との関係についてよくわきまえた上で、自分の暮らし方や信条・収支を決めていくことが大切です。世の中は関係性が大切です。世の中は関係性が大切です。適度・節度・程度・限度の客観的尺度をわきまえ、自分を悟ることが大切です。

推譲

分度を立てて生活することによって自分の生活を支えるのに十分で、そこに余剰が生まれます。その半分を自分や家族のために蓄え、もう半分を世の中に役立てるために使うことです。前者を自譲、後者を他譲といいます。これを実践すれば自分の生活は安定し、更に世のため人のためにもなります。

我が道は至誠と実行のみ＜二宮尊徳一日一言より＞

問合せ先

教育課社会教育係 ☎（579）5801

平成29年度 全国体力・運動能力等調査

豊頃町の児童生徒の 体力や運動習慣は？

豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所

町内の小学5年生、中学2年生を対象に実施した平成29年度全国体力等調査の分析結果が北海道教育委員会から公表されました。各学校においては、この分析結果を生かした体育科授業の工夫改善、体力づくり活動の計画的実施など、既に取組を進めているところです。

これに関わり、本町の体育・スポーツ振興の観点から、家庭、学校、地域が連携・協力し、心身ともに健康な子どもたちの育成に努めてまいります。

○調査実施期間 平成29年4月～7月（平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の内容）

○調査の対象学年及び実技内容

- ・小学校第5学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
- ・中学校第2学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・シャトルランか持久走・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げ

○運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

●豊頃の子どもの体力等の傾向

【小学生】体力合計点は、男子は全国・全道をやや下回り、女子は、全国・全道を上回りました。体力・運動能力に自信がある（小5）

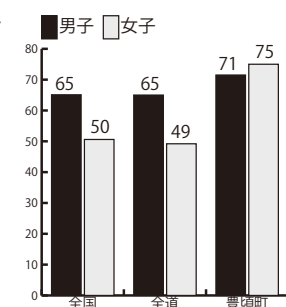
《実技》／全8種目中、男子は上体起こし・長座体前屈・50m走以外の5種目、女子は長座体前屈以外の7種目が全国・全道を上回りました。

／豊頃町の小学生の運動能力は高く、柔軟性も改善傾向にあります。

《質問紙》／「体力・運動能力に自信がある」「運動は大切」と回答した割合が高く、「最後までやり遂げてうれしかったことがある」の回答は全国を上回りました。

／授業や少年団などで運動を好む児童は多いですが、運動時間が少ない児童も見受けられます。

／男子は「朝食」を食べない日がありますが、男女とも「夕食」を毎日食べる習慣は身につけています。「平日のテレビ・ゲーム等の画面を見る時間」で、5時間を超える児童がいます。



【中学生】体力合計点は、男子は全道とほぼ同じ、女子は、全国・全道を上回りました。

《実技》／全8種目中、男子は上体起こし、反復横とび、ハンドボール投げの3種目で全国平均を上回りました。女子は反復横とび、持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの5種目で全国平均を上回りました。

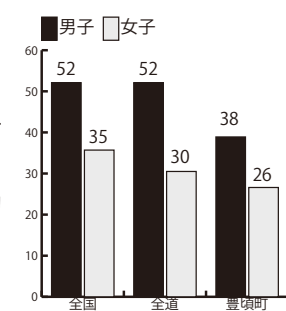
／全国を下回った種目で男子は長座体前屈の数値の差が最も大きく、女子は上体起こしの数値の差が大きかったです。男女とも握力が全国・全道平均をやや下回りました。

《質問紙》／男女ともに「運動が好き」「やや好き」・「運動は大切である」「やや大切である」と答えた生徒の割合が高いです。

／体力に「あまり自信がない」「自信がない」の割合は全国・全道を上回っています。自己の体力に自信をもっていない生徒が多いです。

／男子は「朝食」を食べない日があります。また、「夕食」も男女ともに食べない日が見受けられます。「平日のテレビ・ゲーム等の画面を見る時間」の回答で、5時間を超える生徒が男子に多くいます。

体力・運動能力に自信がある（中2）



●調査結果から考えられること

【全体の傾向と課題】

- 小中学生ともに「運動が好き」であり、「運動は大切」という意識は高いです。
- 「ボール投げ」は、小中男女ともに全国・全道を上回っています。
- 「長座体前屈」が、小中男女ともに全国・全道を下回っていることから、柔軟性の向上が継続課題です。
- 小中学生ともに「朝食や夕食」、「朝食」を食べない日が「ある」と回答があったことから、1日3食の食習慣を確立する必要があります。

【今後の取組の方向性】

- 学校では、引き続き総合的な体力の向上に資する授業の工夫改善や部活動等諸活動の充実に努めるとともに、家庭や地域と連携した取組の継続に努めます。
- 家庭では、基本的生活習慣の基盤をなす1日3食の「食習慣」を大切にするとともに、ストレッチやスポーツタイムを設けて家族全体で健康づくりに取り組むなど、日々の生活の中に運動を取り入れていきたいと思います。
- 地域では、PTA、子ども会、スポーツ少年団活動や町内会行事などにおいては、引き続き子どもも大人も楽しめるゲームや軽運動を取り入れるなど、スポーツに親しむ環境づくりにご協力をお願いいたします。

問合せ先

教育課学校教育係 ☎（579）5801